

4. ITシステムの整備状況

4. IT システムの整備状況

4.1 IT システム基盤

- IT システム担当者数は、会員顧客企業および小規模一般企業では「1~2 人」、中規模一般企業では「3~5 人」の割合が高い
- パソコンの OS 比率では、一般企業では過去 3 年で Windows11 の普及が進んでいるが、会員顧客企業では 3 割弱の普及水準

4.1.1 IT システム担当者数

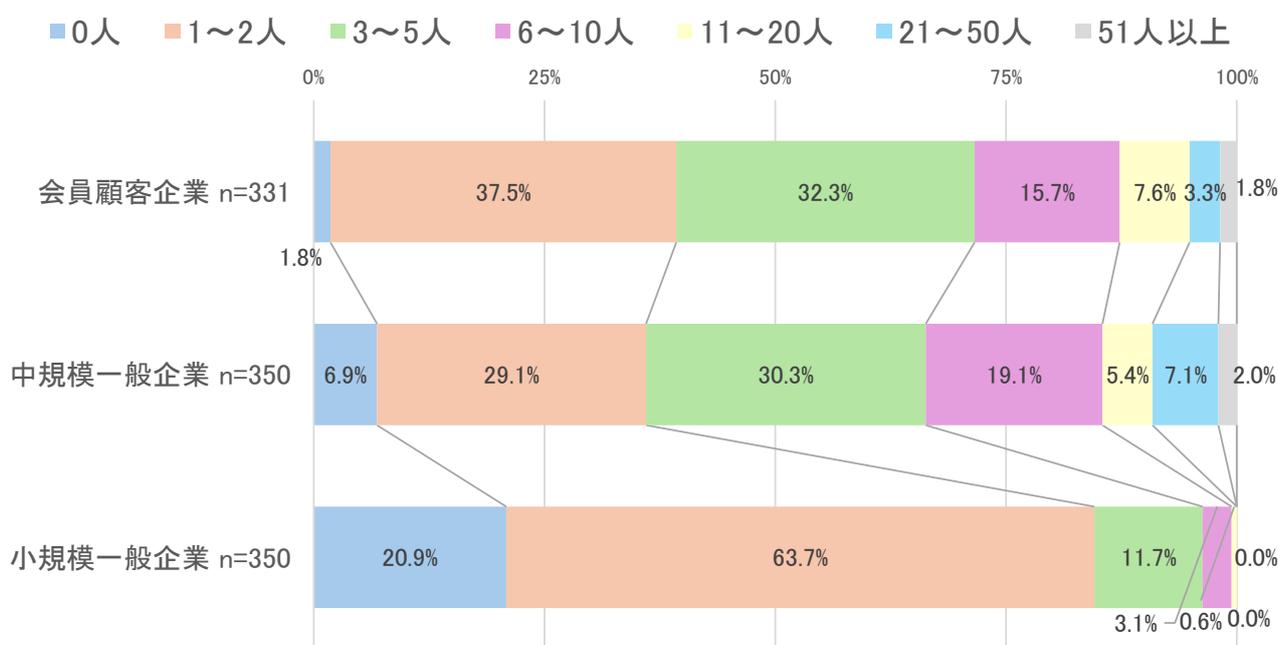


図 4.1-1 IT システム担当者数

回答企業における、IT システム担当者数の結果が図 4.1-1 である。

会員顧客企業では、「1~2 人」(37.5%)、「3~5 人」(32.3%)であった。中規模一般企業では、「3~5 人」(30.3%)、「1~2 人」(29.1%)であった。小規模一般企業では、「1~2 人」(63.7%)、「0 人」(20.9%)であった。

4.1.2 パソコンの OS 比率の推移

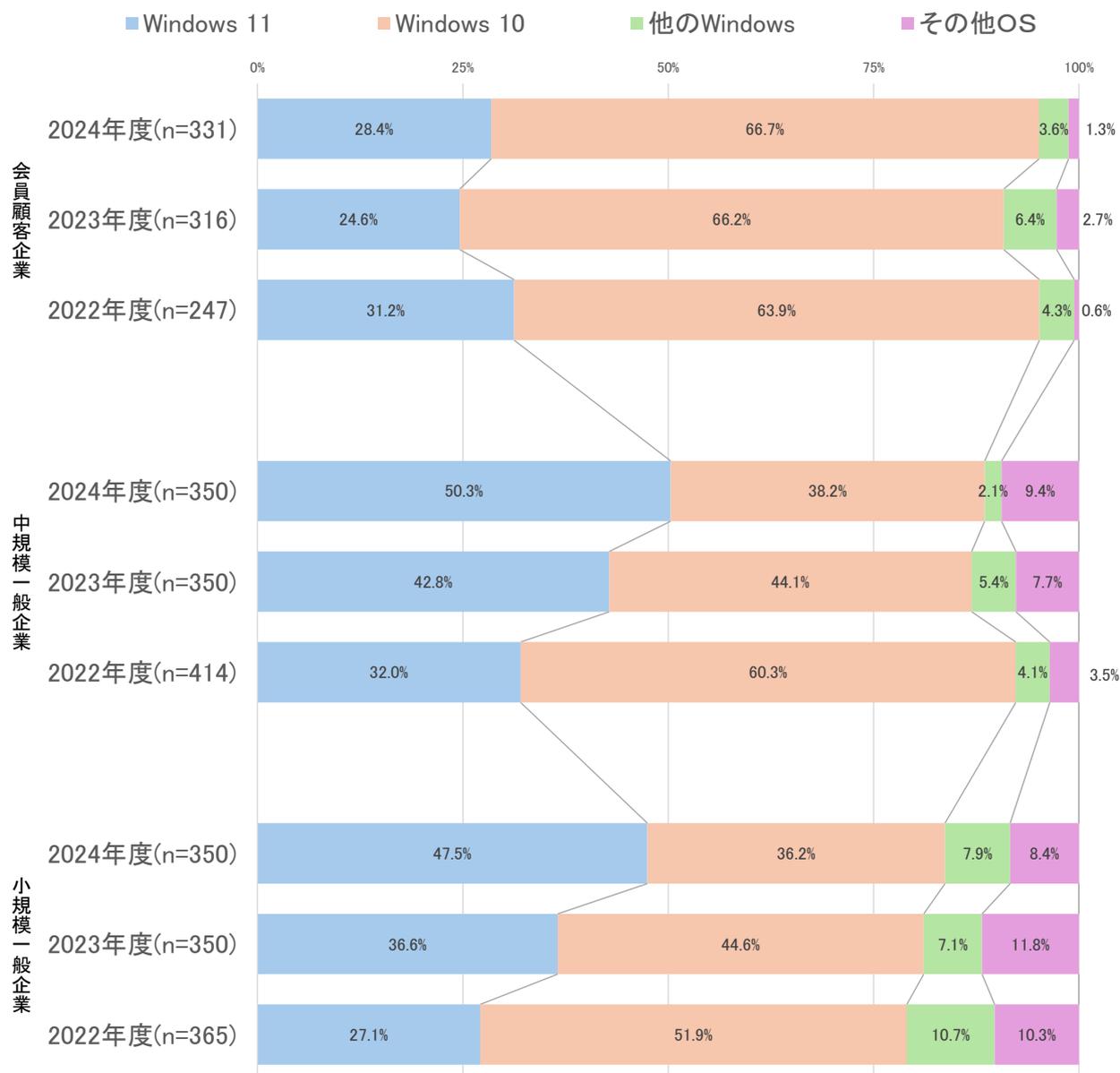


図 4.1-2 パソコンの OS 比率の推移

回答企業における、パソコン（デスクトップパソコンとノートパソコンの合計）の OS 比率の推移の結果が図 4.1-2 である。

会員顧客企業では、Windows10（66.7%）が最も多く、Windows11（28.4%）の結果であった。中規模一般企業では、Windows11（50.3%）が最も多く、ついで Windows10（38.2%）の結果であった。小規模一般企業では、Windows11（47.5%）が最も多く、ついで Windows10（36.2%）の結果であった。

4.1.3 スマートフォンの OS 比率の推移

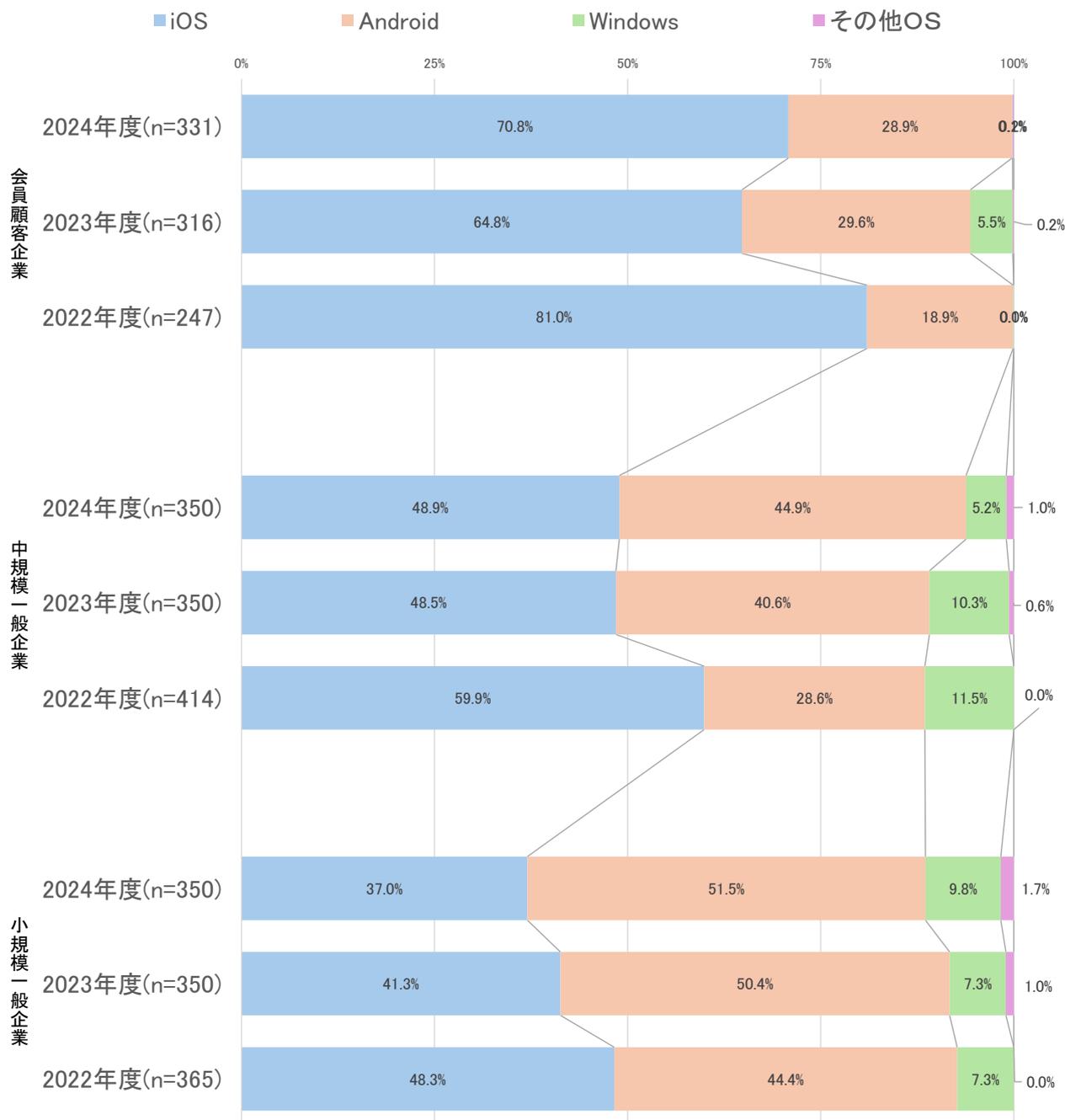


図 4.1-3 スマートフォンの OS 比率の推移

回答企業における、スマートフォンの OS 比率の推移の結果が図 4.1-3 である。

会員顧客企業では、「iOS」の割合が高く、中規模一般企業および小規模一般企業では「Android」の割合が高い。

4.1.4 サーバーの OS 比率の推移

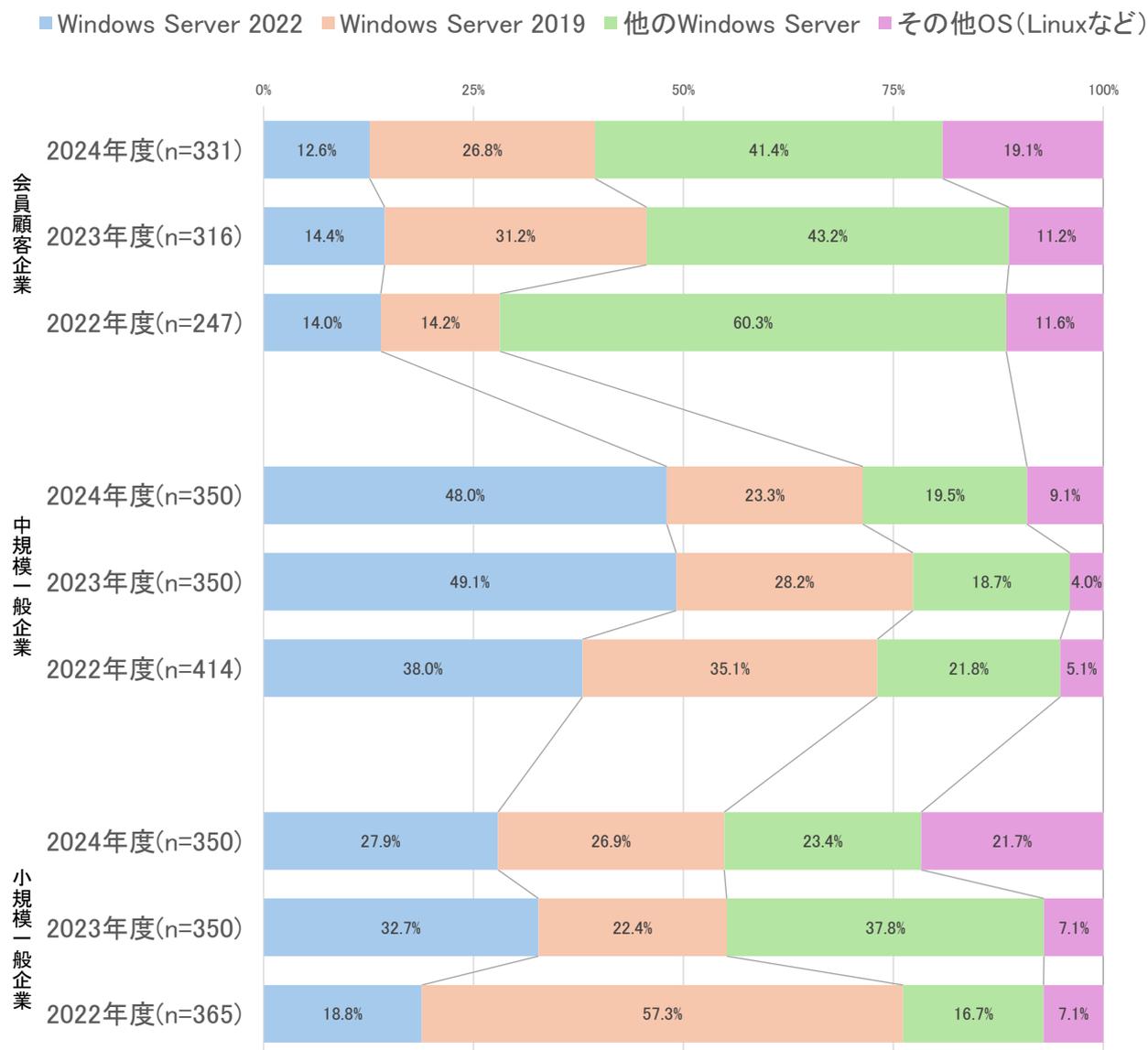


図 4.1-4 サーバーの OS 比率の推移

回答企業における、サーバーの OS 比率の推移の結果が図 4.1-4 である。

会員顧客企業では、「他の Windows Server」(41.4%)、「Windows Server 2019」(26.8%) の順であった。中規模一般企業では、「Windows Server 2022」(48.0%)、「Windows Server 2019」(23.3%) の順であった。小規模一般企業では、「Windows Server 2022」(27.9%)、「Windows Server 2019」(26.9%) の順であった。

4.2 業務のシステム化状況

- 会員顧客企業の業務のシステム化状況では、「フロントオフィス」と「バックオフィス」ではなくクラウドサービス利用>、「業務固有部門」ではなくオンプレミス利用>の割合が高い
- 一般企業の業務のシステム化状況では、いずれの業務部門でも<システム化していない>が多い

表 4.2-1 業務部門の定義

業務部門	業務内容	具体的業務例
フロントオフィス	顧客に直接対応し、外部との接点となる	営業、販売、サービス、サポートなど
ミドルオフィス	フロントオフィスが成果を出せるよう、サポートする	経営企画、リスク管理、広報、マーケティングなど
業種固有部門	業種固有の業務を行う	生産、開発、建設、輸送、倉庫、資産運用、事業インフラ運用など
バックオフィス	事務处理的な業務を行う	総務、人事、ITなど

4.2.1 フロントオフィス

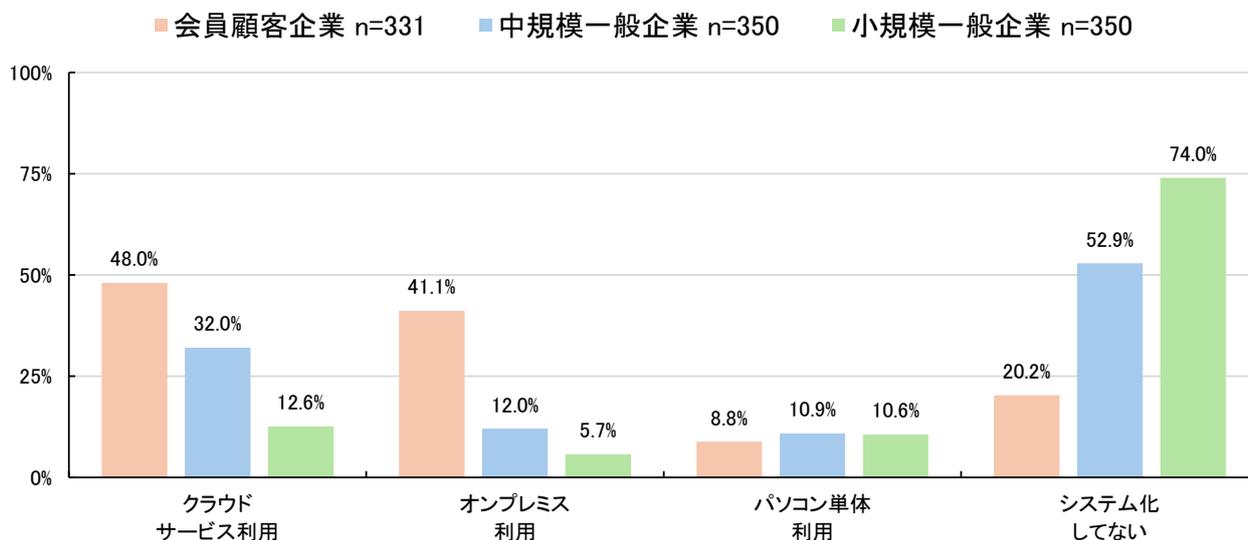


図 4.2-1 フロントオフィスのシステム化状況

フロントオフィスのシステム化状況の結果が図 4.2-1 である。

フロントオフィスのシステム化では、会員顧客企業では「クラウドサービス利用」(48.0%)が高く、一般企業では「システム化していない」が高い結果であった。

4.2.2 ミドルオフィス

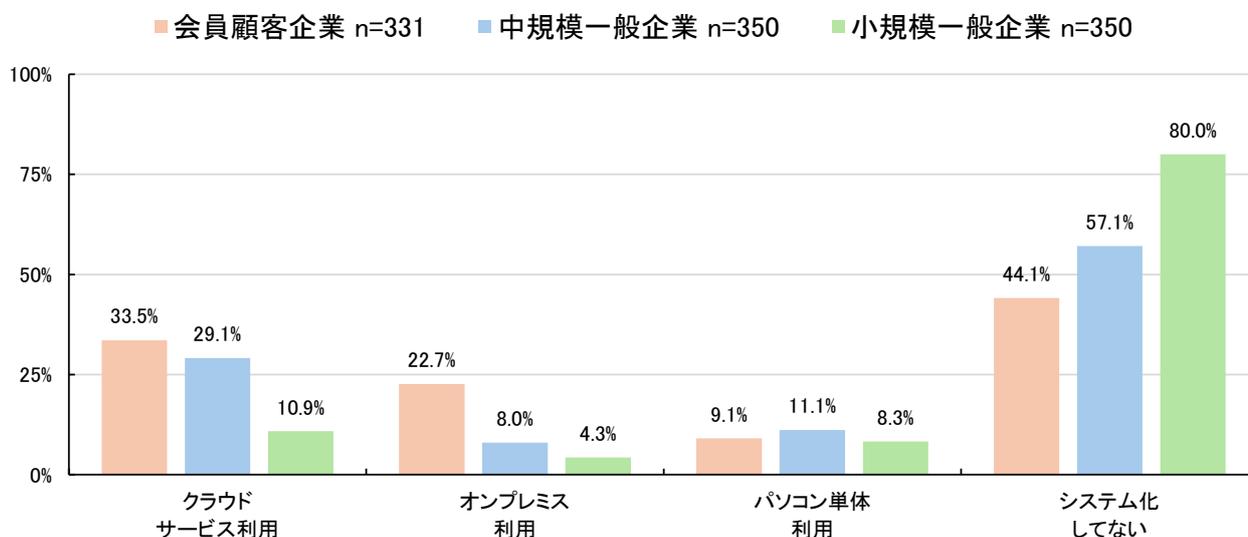


図 4.2-2 ミドルオフィスのシステム化状況

ミドルオフィスのシステム化状況の結果が図 4.2-2 である。

ミドルオフィスのシステム化では、会員顧客企業、一般企業ともに「システム化していない」が高い結果であった。

4.2.3 業種固有部門

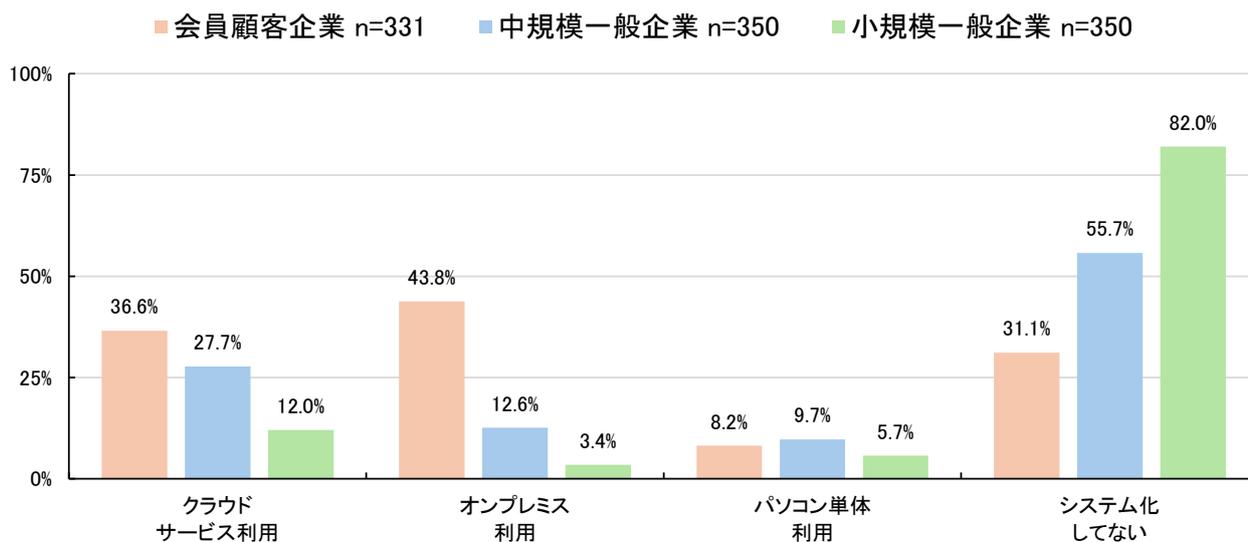


図 4.2-3 業務固有部門のシステム化状況

業務固有部門のシステム化状況の結果が図 4.2-3 である。

業務固有部門のシステム化では、会員顧客企業では「オンプレミス利用」(43.8%)が高く、一般企業では「システム化していない」が高い結果であった。

4.2.4 バックオフィス

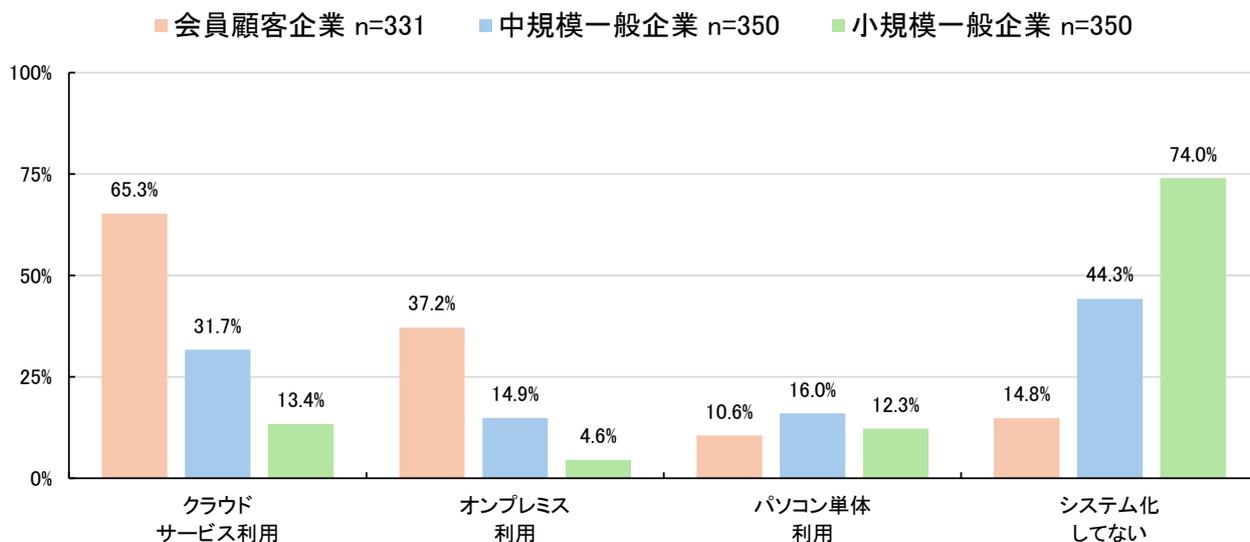


図 4.2-4 バックオフィスのシステム化状況

バックオフィスのシステム化状況の結果が図 4.2-5 である。

バックオフィスのシステム化では、会員顧客企業では「クラウドサービス利用」(65.3%)が高く、一般企業では「システム化していない」が高い結果であった。

4.3 システム投資、運用費用、クラウドサービス利用費用

- 情報システムの新規投資、運用費用、クラウドサービス利用費用については、全ての費用（投資）において、会員顧客企業および中規模一般企業は「100万円-1000万円未満」、小規模一般企業では「10万円未満」の割合が高い

4.3.1 情報システム新規投資額

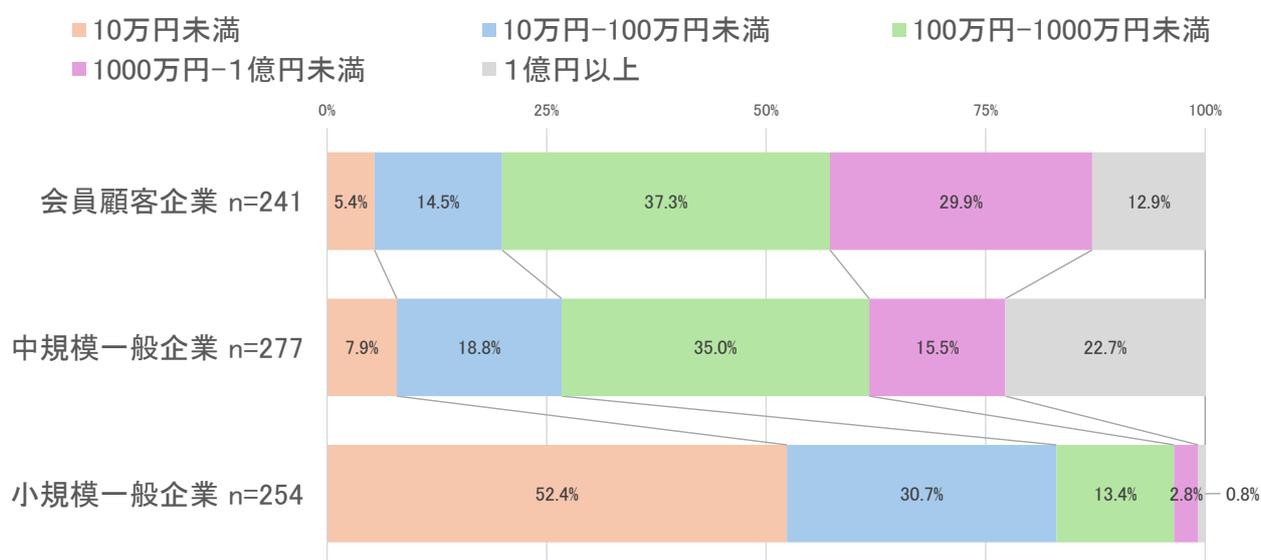


図 4.3-1 情報システム新規投資額

情報システム新規投資額の結果が図 4.3-1 である。

会員顧客企業では「100万円-1000万円未満」（37.3%）、中規模一般企業では「100万円-1000万円未満」（35.0%）、小規模一般企業では「10万円未満」（52.4%）が高い結果であった。

4.3.2 情報システム運用費用

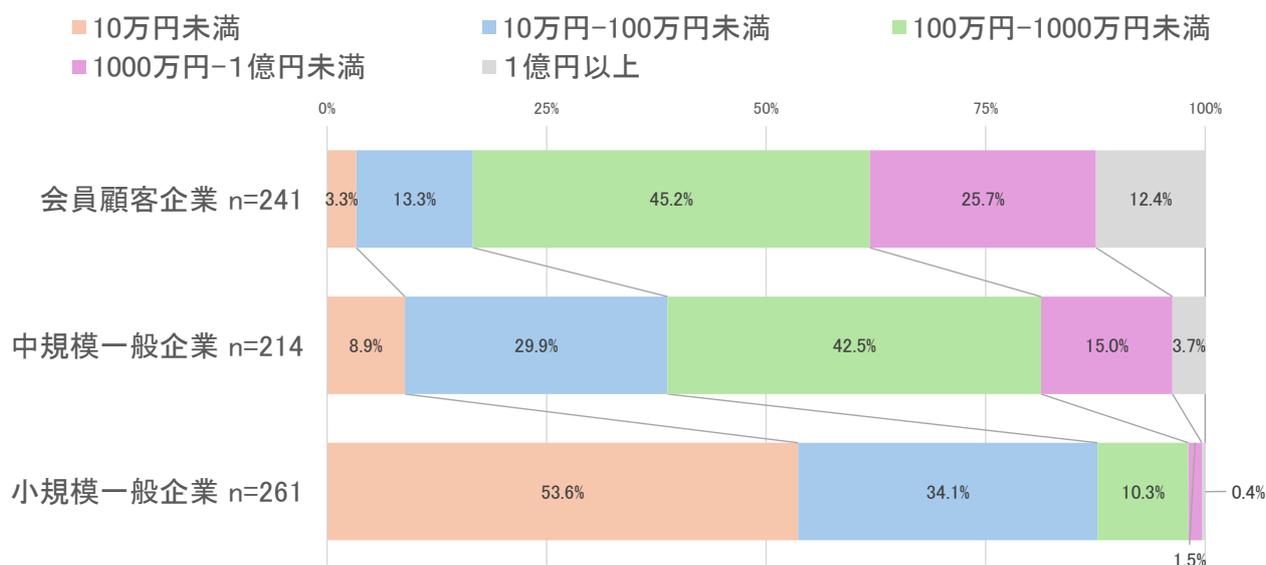


図 4.3-2 情報システム運用費用

情報システム運用費用（1年間での）の結果が図 4.3-2 である。

会員顧客企業では「100万円-1000万円未満」（45.2%）、中規模一般企業では「100万円-1000万円未満」（42.5%）、小規模一般企業では「10万円未満」（53.6%）が高い結果であった。

4.3.3 クラウドサービス利用料(年間)

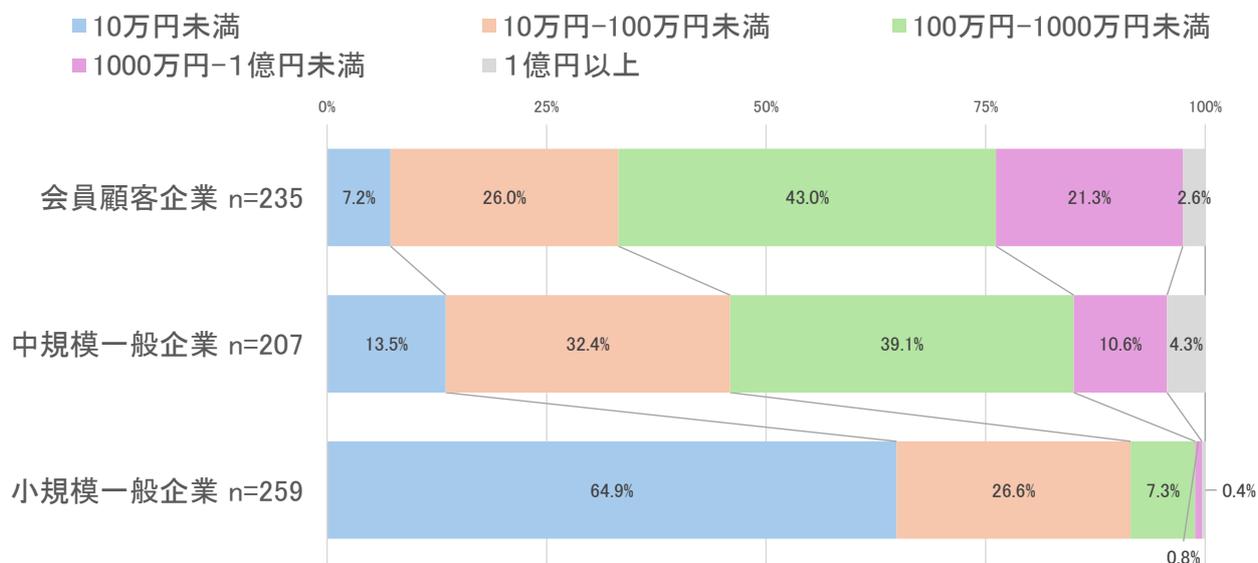


図 4.3-3 クラウドサービス利用料（年間）

クラウドサービス利用料（1年間での）の結果が図 4.3-3 である。

会員顧客企業では「100万円-1000万円未満」（43.0%）、中規模一般企業では「100万円-1000万円未満」（39.1%）、小規模一般企業では「10万円未満」（64.9%）が高い結果であった。